

大学生ネットワークづくりと若い世代が活動できる場を広げる事業

目的 – 若者の活動できる場を広げる

この事業は、10代・20代に対して同世代の人からアプローチすることで、活動したいと思う若者を増やすことを目的としています。

沼津市では高校に通った後、大学へと進学、または就職することによって沼津市を離れてしまう10代、20代は少なくありません。もちろん、沼津市から大学に通う人や仕事に行く人も存在はしていますが、その人たちの中でも街中で仕事や勉強以外の活動をしている人は限られています。

そんな中、その年代へ同世代の人からアプローチすることによって、活動したいと思う人を増やし、地元から離れた若者や沼津にいるのに活動できていない若者に対して、活動できる場を提供していきます。

現状 – 高校卒業と同時に沼津を離れる学生が多い

現在の沼津市では、高校卒業後にそのまま地元を離れてしまう人が多い傾向にあります。

図1は流出進学者の数で、約68%の人が進学した際に他県へと進学しています。そのため、高校までは沼津市で何かをしていた高校生もそのまま流出してしまい、活動の継続が困難となっています。

だからこそ、大学に行っても繋がっていただける団体の必要性が大切になります。

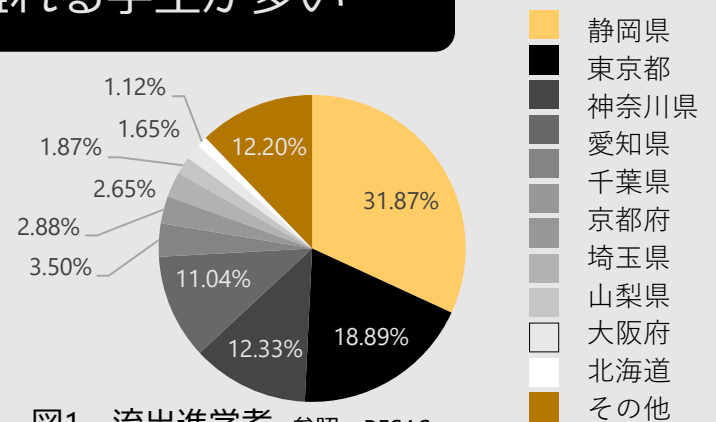


図1 流出進学者 参照：RESAS

活動 – 3/13に音楽会を開催

初めに、After Graduate Clubs（略：AGC）という団体を立ち上げ、大人の協力を得ながら、若者が活動したい場を広げるための団体を作りました。

“部活動をはじめ、高校卒業することで活動しなくなった。または、活動したくても中々活動する機会がない。そんな人たちの「活動を再開したい。」「街中でやってみたい。」を叶える団体”

そして、音楽ならやりたいという20歳を中心に3月13日に音楽会を開催。当日はYouTubeによるLIVE配信を行いました。



図2 LIVE配信の様子

振り返り・課題 – 継続と規模の拡大

多くの人に協力をしてもらい、何とか完成にもっていきました。雨天のため急遽場所の変更を行うなど、演奏参加者を振り回す状態になった点は、満足度の低下につながる原因となりました。

一方で、楽しかったとの声も頂くことができ、次回の参加も楽しみにしてくださる人もたくさんいました。

今後の課題としては、音楽のみならず他のテーマでも活動したい若者を見つけ、実践していくことが必要となってきます。

そのためにも、何かをやりたいと思っている若者を見つけることが必要となってくる点が大きな課題となります。

また、継続するための資金確保も重要となってくるため、今後の資金調達及び運営主体の拡大を重点的に行っていきたいです。